

令和 3 年度
(2021 年度)

事業報告書

社会福祉法人おおぞら

目 次

	ページ
1. 法人事業報告書	- 2 -
2. 本部事業報告書	- 10 -
3. はくちょう事業報告書 (生活介護事業)	- 13 -
4. つばさ事業報告書 (就労継続支援B型事業)	- 23 -
5. やまばと事業報告書 (地域活動支援センター I 型事業)	- 32 -
6. やまばと事業報告書 (障害者等相談支援事業)	- 38 -
7. やまばと事業報告書 (特定相談事業・障害児相談事業)	- 41 -
8. 障害児放課後クラブ事業報告書 (放課後等デイサービス事業)	- 45 -
9. しえろ事業報告書 (共同生活援助事業)	- 52 -

1. はじめに

令和3年度(2021年)の事業を振り返って

誰もが公私にわたり3年越しのコロナ禍に振り回されてきました。マスク着用、手洗い、うがい、丁寧な清掃などの感染対策を徹底する中で、否が応でも集団による活動が制限されてきたことは否めません。その中でも法人の各事業は日常の活動が留まることなく、より楽しく利用者が参加できるように工夫を凝らしてきました。

例年行ってきた大空祭やはくちょうまつりも三密を避けるためには中止せざるを得ず、規模を縮小して外部の施設で行うことで、それぞれの事業の日頃の成果を発表する形を取らざるを得ませんでした。また、3月から新しく事業を開始したグループホームは順調なスタートを切りつつも、利用者が属する昼間の活動の場やご家族の影響、職員の配置の不都合もあって、開所の日を制限的に設けざるを得なかったことがありました。ただ一方では、各事業間の連携が必要になったことで、利用者の心身にわたる状況把握が進み、そのことでご家族とのより親密な関係が築けた1年でもありました。また、今年度は日常の支援の中から新たな発見、改善案を考えることでより充実した支援を目指すべく職員による研究発表会を開催して、職員が学び合う機会を作ることができました。

これからも職員の成長を目指し、利用者個人に適切な支援計画をもとに事業を進め、虐待防止、災害などへの対応等も怠ることなく事業運営に努めて参ります。

社会福祉法人おおぞら
理事長 今澤隆一郎

2. 総括

令和3年度は、民間社会福祉法人に移行して8年目の年でした。過去7年間の実績を踏まえながら、引き続き法人の「基本理念・基本方針」の実現に向け、また「倫理と職員行動規範」の実践を目指し、利用者、家族、地域、日野市および関係諸機関の皆様のご理解と、ご支援、ご協力のもと、職員一丸となって事業の推進にあたってきました。

人材育成の面では、コロナ禍において、多くの研修が前年度に引き続きオンライン化に変わりましたが、必要な研修については、できる限り受講し、専門性の向上に努めました。また法人研修として、「災害対策」「虐待防止」「感染症対策・嘔吐物の処理」の3つのテーマを、事業者単位を基本として実施しました。また、1月には昨年度実施できなかった職員研究発表会をZoomにて実施しました。

職員組織面では、令和3年3月開所した、グループホームしえろでは、有期契約職員がなかなか定着せず職員配置に苦慮しました。年度途中(11月)に人事異動による改善を行いました。また年度の後半には、つばさの職員が複数名退職することになり急遽年明けから中途採用に取り組むといった事態にもなりました。結果、令和4年度の4月～5月には4名の新入職員を迎えることとなりました。人材確保の厳しい時代の中、今後においても将来を見据えた職員計画を早急に整備することが必要です。

各事業の経営面においては、新型コロナウイルスに対する感染症予防に取り組みながら、稼働率の維持に努めました。年明け以降新型コロナ第6波の影響で、やむを得ず稼働率が低下した時期もありましたが、年間を通してみるとはくちょう、つばさについては前年度を上回る稼働率を達成することができました。

つばさ・やまばと、はくちょうの各事業所とも、建物や設備の老朽化が目立ち、それに対応すべく前年度に引き続き大規模修繕を実施しました。主だった施設整備、大規模修繕は最終段階にきていいると思われます。今後は、必要な部分について計画的に施設整備、大規模修繕を行っていく必要があります。

3. 【令和3年度の重点目標について】

(1) 経営組織の強化に努めました。

- ① 定時評議員会は6月開催し、11月に第2回評議員会を決議を省略した方法で実施しました。
- ② 理事会を年間7回実施しました。(うち第4回理事会及び第6回理事会は決議を省略した方法で実施しました。)
- ③ 評議員の任期満了に対する新たな評議員の選任に伴い、評議員選任・解任委員会を6月に開催しました。
- ④ 令和3年度は運営協議会の開催はありませんでした。
- ⑤ 経営会議を月1回、原則として第2火曜日に開催しました。
- ⑥ 理事・監事・評議員の改選を6月に行いました。

(2) 規程、規則の遵守に努めました。

(3) 利用者支援について

- ① 虐待防止マニュアルに則り、虐待防止委員会の開催と職員セルフチェックリストの実施・分析を行いました。
- ② 利用者、家族、保護者の声を聴き充実した支援の提供に努めました。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの行事を中止せざるを得ませんでした。
- ④ 前年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に留意した保健衛生面の充実に努めました。

(4) 施設整備および施設改修を実施しました。

- ① 床張替え(はくちょう)
- ② 壁紙張替え(はくちょう)
- ③ 天井塗装(はくちょう)
- ④ トイレ便器の交換及び自動水栓工事(つばさ)
- ⑤ 建物壁面のタイルの補修工事(つばさ・やまばと)
- ⑥ 自動水栓への切り替え(つばさ・やまばと)
- ⑦ 冷温水発生機の設置(やまばと)
- ⑧ 活動室の排水管の改修(やまばと)
- ⑨ 排煙装置の修繕(やまばと)
- ⑩ 男子トイレの修繕(障害児放課後クラブ)

(5) 人事管理の充実について

- ① グループホームしえろの職員体制づくりのための人材確保に努めましたが十分な補充には至りませんでした。
- ② 年明けより退職者への対応として中途採用を行い新年度(4月及び5月)に4名の採用を行いました。
- ③ 人事評価制度の適正運用に努めました。
- ③ 人材育成の充実に努めました。
 - ・法人研修を「災害対策」(6月)、「虐待防止」(7月～9月)、「感染症対策・嘔吐物の処理」(11月)を実施しました。
 - ・1月21日(金)にWebによる職員研究発表会を実施しました。
 - ・各事業所においてOJT、OFF-JTの充実に努めました。
 - ・防火・防災管理者講習の受講は一件ありました。(しえろ管理者:箕輪あずさ)

(6) ショートステイ事業について

ショートステイ事業の検討には至りませんでした。

(7) 社会福祉充実計画の実施について
社会福祉充実計画の進捗状況の確認を随時行なうとともに実態に合わせて計画の変更を行ないました。

(8) 委員会の開催と運営

- ① 研修委員会
- ② 虐待防止委員会
- ③ 感染症対策委員会
- ④ 事業継続計画(BCP)策定委員会
- ⑤ サービス管理責任者会議

上記、4つの委員会と1つの会議を各々のテーマに沿った運営を行いました。

(9) 地域福祉の推進の一環として下記に取り組みました。

- ① 市内一斉清掃への参加をしました。
- ② 旭が丘東地区センター及び日野台地区センターの受付業務を行いました。

(10) 感染症対策に努めました。

- ① 新型コロナウイルス感染防止のための対策に努めました。
- ② 感染症対策・嘔吐物の処理演習を法人研修として実施しました。

(11) 災害対策に努めました。

- ① 事業継続計画(BCP)の策定・見直し、周知を行いました。
- ② 「災害対策」研修を法人研修として実施しました。
- ③ 地震を想定した訓練の実施と福祉避難所開設に伴う運連を実施しました。
(本部・つばさ・やまばと)
- ④ 各事業所にて消防・避難訓練を実施しました。

4. 実施事業

(1) 第二種社会福祉事業

ア 地域活動支援センター(やまばと)の経営

イ 特定相談支援事業(やまばと)の経営

ウ 障害児相談支援事業(やまばと)の経営

エ 障害福祉サービス事業の経営

- ① つばさ:就労継続支援B型
- ② はくちょう:生活介護
- ③ グループホームしえろ:共同生活援助

オ 障害児通所支援事業の経営

- ① 障害児放課後クラブ:放課後等デイサービス事業

5. 役員等構成

(1) 役員構成

(令和4年3月31日現在)

役員名	氏名	役員名	氏名
理事長	今澤 隆一郎	理 事	山田 哲道
常務理事	岩下 哲也	理 事	篠 昭義
理 事	千金良 徹哉	理 事	小林 晶子
監 事	北原 博司	監 事	山井 理恵

(2) 評議員構成

(令和4年3月31日現在)

役員名	氏名	役員名	氏名
評議員	橋本 正明	評議員	奥住 日出男
評議員	保里 哲夫	評議員	大澤 晃
評議員	本村 雄一	評議員	川松 ゆり
評議員	野原 久代		

6. 評議員会開催状況

開催回数	開催(決議)年月日	参加者数 (同意者数)	議 題 等
定時 評議員会	令和3年 6月21日(月)	(評議員) 7名	1. 報告事項 (1) 第1号 令和2年度社会福祉法人おおぞら事業報告について 2. 議決事項 (1) 第1号 令和2年度社会福祉法人おおぞら収支決算の承認について (2) 第2号 社会福祉法人おおぞら社会福祉充実計画の承認について (3) 第3号 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部改正について (4) 第4号 社会福祉法人おおぞら理事の選任について (5) 第5号 社会福祉法人おおぞら監事の選任について
第2回 (※決議の省略による)	令和3年 11月22日(月)	(評議員) 7名	1. 提案事項 (1) 第6号 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬に関する規程の一部改正について

7. 理事会開催状況

開催回数	開催(決議)年月日	参加者数 (同意・確認者数)	議 題 等
第1回	令和3年 6月3日(木)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第1号 令和2年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第6回)専決処分の報告、同意について (2) 第2号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第1回)専決処分の報告、同意について (3) 第3号 令和2年度社会福祉法人おおぞら事業報告の承認について (4) 第4号 令和2年度社会福祉法人おおぞら収支決算の承認について (5) 第5号 社会福祉法人おおぞら社会福祉充実計画について (6) 第6号 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部改正について (7) 第7号 次期役員候補者について (8) 第8号 社会福祉法人おおぞら評議員候補者の推薦について (9) 第9号 評議員選任・解任委員会の招集の件について (10) 第10号 令和3年度社会福祉法人おおぞら定時評議員会の招集事項について 2. 報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について その他の報告事項
第2回	令和3年 6月21日(月)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第11号 社会福祉法人おおぞら理事長の選定について (2) 第12号 社会福祉法人おおぞら業務執行理事の選定について (3) 第13号 社会福祉法人おおぞら評議員選任・解任委員の選任について
第3回	令和3年 9月17日(金)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第14号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第2回)専決処分の報告、同意について (2) 第15号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第3回)の認定について (3) 第16号 社会福祉法人おおぞら施設長の選任について 2. 報告事項 その他の報告事項
第4回 (※決議の省略による)	令和3年 10月28日(木)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 提案事項 第17号 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬に関する規程の一部改正について 第18号 令和3年度社会福祉法人おおぞら第2回評議員会の招集事項について

第5回	令和3年 12月22日(水)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第19号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第4回)の認定について (2) 第20号 社会福祉法人おおぞら 公印規程の一部改正について 2. 報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について その他の報告事項
第6回 (※決議の省略による)	令和4年 3月1日(火)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 提案事項 (1) 第21号 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当の支給に関する規程の制定について
第7回	令和4年 3月25日(金)	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第22号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第5回)の認定について (2) 第23号 令和4年度社会福祉法人おおぞら事業計画の承認について (3) 第24号 令和4年度社会福祉法人おおぞら収支予算の承認について (4) 第25号 社会福祉法人おおぞら職員給与規則の一部改正について 2. 報告事項 その他の報告事項

8. 監査の実施状況

開催年月日	出席者	監査事項	監査結果報告
令和3年 5月24日 (月) 13:15～ 16:30	1. 監事 北原 博司 山井 理恵 2. 立会人 理事長 常務理事 各施設長 経理担当者 管理者	1. 令和2年度 事業報告 2. 令和2年度 決算報告	1. 事業報告等の監査結果 ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める ②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められず 2. 計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める

9. 運営協議会の開催状況

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、運営協議会は中止としました。

10. 評議員選任・解任委員会

(委員構成)

(令和4年3月31日現在)

区分	委員氏名	区分	委員氏名
外部委員	古谷 晋	監事	山井 理恵
外部委員	川久保 紀子	事務局員	饒波 亜紀
外部委員	依田 一恵		

・評議員の任期満了に伴う改選のため、6月9日(水)に評議員選任・解任委員会を開催しました。

11. 苦情解決第三者委員

(令和4年3月31日現在)

氏 名	氏 名
尾曲幹彦	川久保 紀子

※第三者委員の立ち合いの苦情はありませんでした。

12. 規則、規程の整備

- (1) 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部改正
- (2) 社会福祉法人おおぞら役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部改正
- (3) 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当の支給に関する規程の制定
- (4) 社会福祉法人おおぞら職員給与規則の一部改正

13. 研修関係

法人内研修

法人研修として、「災害対策(BCP)」「虐待防止」「感染症対策(嘔吐物の処理)」を各事業所単位で実施しました。

研修名	時 期	参加者	備 考
災害対策	6月14日～6月24日	(職員・再雇用職員) 23名 (有期・無期契約職員) 15名 計38名	事業所単位で実施
虐待防止	7月1日～9月28日	(職員・再雇用職員) 25名 (有期・無期契約職員) 11名 計36名	事業所単位で実施
感染症対策 (嘔吐物の処理)	11月11日～11月30日	(職員・再雇用職員) 23名 (有期・無期契約職員) 25名 計 48名	事業所単位で実施

研修名	開催日	参加者	備考
職員研究発表会	令和4年 1月21日(金)	(職員・再雇用職員) 22名 (有期・無期契約職員) 7名 計29	Web研修

14. 資格取得状況(令和3年度取得)

社会福祉士 1名 (はくちょう:上原 晃)

15. 寄附状況

法人及び事業所に対し下記のとおり寄附がありました。

6 件	660,000 円	(内訳) 家族等(3件) その他(3件)
-----	-----------	-------------------------

【施設概要】

職員配置

(令和4年3月31日現在)

理事長	1名	非常勤 (兼務)	しえろ施設長を兼ねる
常務理事 業務執行理事 統括施設長	1名	常勤 (兼務)	事務長、障害児放課後クラブ施設長を兼ねる
事務員	2名	常勤	2名

【本部事業について】

- ・ 法人事業方針に基づいて、経営・事業課題に取り組みました。
- ・ 各事業所との連携強化と法人事務局体制の強化に努めました。

(1) 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監事監査の開催及び実施

① 理事会・評議員会の開催

	回数	開催月
理事会	7回	6月(2回)・9月・10月(※決議の省略)・12月 3月(2回※うち1回は決議の省略)
評議員会	2回	6月(※定時評議員会)・11月(※決議の省略)

② 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任・ 解任委員会	6月9日(水)	任期満了に伴う評議員の選任
-----------------	---------	---------------

③ 監事監査の実施

監事監査	5月24日(月)	令和2年度事業報告、令和2年度決算他
------	----------	--------------------

(2) 経営会議の運営

	構成メンバー	会議の頻度	内容
経営会議	理事長・常務理事 施設長・主査	(原則として) 1ヶ月に1回 第2火曜日	法人運営について、また各事業の 運営状況及び経営状況の把握・ 検討等を行いました。

(3) 本部職員会議

随時、常務理事(事務長)、主査、主任による職員会議を行い、法人の経営等に関する情報共有の機会を持ちました。

(4) 各種委員会の運営の補佐

- ・ 令和3年度法人重点目標に取り組むための委員会の補佐を行ないました。

- ① 研修委員会
- ② 虐待防止委員会
- ③ 感染症対策委員会
- ④ 事業継続計画(BCP)策定委員会
- ⑤ サービス管理責任者会議

(5) 人材確保と人材育成の強化

- ・ 本部として、各事業の日常的な安定運営と、将来の安定的な法人職員組織確立に向けた人材確保の必要性を感じつつも、令和3年度においては十分な人材確保ができませんでした。年間を通して複数名の正規職員及び有期契約職員の退職に対する補充が必要となりましたが十分は補充に至らなかったというのが実態と言えます。しえろについては、特に夜間支援従事者の欠員が目立ち年度途中で人事異動による改善も行いました。年度後半につばさの職員の複数名の退職による欠員補充のための職員採用を行い新年度に備えました。今後とも継続的な人材確保が必要と思われまます。
- ・ 令和2年度から続くコロナ禍の中、外部研修がオンライン化するなど研修の形態が従来に比べ変わりましたが、必要に応じた研修参加に取り組みました。法人の職員研究発表会もZoomを使つての方式を試みました。また各事業所単位でも研修の実施等を行い福祉に携わる職員として必要な知識・援助技術の向上を図りました。

(6) 法人職員会議

- ・ 4月1日に法人職員会議を開催し、事業計画の周知を行いました。

(7) 法人経営基盤の安定化への取り組みについて

- ・ 経営会議と連携し、各事業の法人設立後7年間の振り返りと現状分析、また今後の方向性について検証しました。

(8) 事業継続計画(BCP)の策定について

- ・ 事業継続計画(BCP)策定委員会にて、「つばさ・やまばと・本部」、「はくちょう」の事業継続計画(BCP)の見直しを行いました。令和4年度以降も見直しを行っていきます。

(9) 大規模修繕への取り組みについて

- ・ つばさ、やまばと、はくちょうと連携して社会福祉充実計画の生活環境向上のための大規模修繕事業に取り組みました。

(10) 各事業所と連携を図りながら、各事業所の抱える課題の解決に向けてのバックアップに努めました。

- ① 各事業の業務向上と職員の心身の安全が維持できるようサポートに努めました。
- ② 「社会福祉法人おおぞら ハラスメント防止要綱」に伴う相談窓口として職員からの苦情・相談を行ないました。

(令和3年度) 申し立て件数 1件

(11) 規程及び規則等の制定及び改正と労務管理について

- ・ 必要に応じた規定及び規則等の制定及び改正を行いました。
- ・ 社会保険労務士と顧問契約を結び、各種労務管理に関する相談を行ないました。

(12) 研修について

下記の研修に参加しました。

月 日	研修テーマ	主催	参加者
令和3年 10月15日(金)	今年から年末調整業務をペーパーレス化 しませんか？ 「年末調整における電子化について」	応研株式会社	主任 1 名
令和3年 10月21日(木)	大幅緩和でどう変わる？電子帳簿保存法 開設セミナー 「電子帳簿保存法の規制緩和内容と適用メ リットを知る」	応研株式会社	主任 1 名
令和3年 10月26日(火)	Withコロナ時代のeラーニング導入セミ ナー 「導入に成功した他社の事例から学ぶコロ ナ時代のgacco活用」	株式会社ドコモ	主任 1 名
令和3年 12月14日(火)	電子帳簿保存法のポイントと社会福祉法人 に与える影響 「電子帳簿保存法が社会福祉法人に与え る影響を知る」	応研株式会社	主任 1 名
令和4年 3月下旬	令和3年度 オンライン研修 社会福祉法人・施設『会計実務研修』 「資金管理の実践的実務」	東京都 社会福祉協議会	主査 主任 2 名
令和3年 3月下旬	令和3年度 オンライン研修 社会福祉法人・施設『会計実務研修』 「会計決算研修 障害」	東京都 社会福祉協議会	主任 1 名

* 法人内研修

災害対策	参加日： 令和3年6月23日(水)	3 名
虐待防止	参加日： 令和3年9月15日(水)又は9月22日(水)	3 名
感染症対策 (嘔吐物の処理)	参加日： 令和3年11月19日(金)又は11月30日(火)	3 名
職員研究発表会	参加日： 令和4年1月21日(金)	4 名

(13) 地域貢献について

- ・ 地域貢献の一環として、「旭が丘東地区センター」の受付業務を行ないました。
- ・ 市内一斉清掃に参加しました。

令和 3 年度	事 業 報 告	生活介護 はくちょう
---------	---------	---------------

**総括
自己評価**

令和3年4月、七生特別支援学校卒業生(女性)を1名迎え、登録者21名で事業をスタートしました。昨年6月以降の新しい生活様式を取り入れた、生活空間を密にしないためのグループ化での生活、活動が根付いた一年でした。行事はほぼ中止をして、テイクアウト外食の行事を感染症の状況を見ながらの対応で、1回実施しました。事業成果の発表は12月に法人での展覧会を行いました。1月下旬に職員からコロナ感染者が発生し2名の利用者、1名の職員へ感染が確認され、感染症マニュアルに則り、事業所を9日間閉鎖しました。ほぼすべての家族会を文書による報告形式で行いました。2回目の家族会実施後に、ご家族より事前に意見、要望を寄せる機会をもらえないかという要望があったため、第3回以降の家族会では文書作成前に聴取機会を文書で設け、利用者の事業所での生活の見えにくい部分を伝えていけるよう配慮しました。12月に唯一1回、参集による家族会を実施しています。行事を含め「協働」という点では、満足にできない状況の一年間でした。

令和2年度末で主任が定年退職し、6月まで再雇用職員として勤務しました。サービス管理責任者は再び施設長兼務となりました。同じ月に1名非常勤職員の退職があり、10月に1名非常勤職員の雇用を行いました。11月にはグループホームへ正規職員の異動があり、12月、1月に1名ずつ、非常勤職員を採用、1月に体調を崩し2月に1名退職、3月に契約満了で2名が退職しています。

竣工34年を経過し、経年劣化による大規模修繕を計画的に実施してきました。今年度は事業所内の床の張替え、壁の塗装、食堂の改装、事務室の改装及び事務備品の入れ替えを行っています。

【施設概要】

事業の目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、重度知的障害者に対し

- (1) 食事、排泄等の介護、日常生活上の支援
- (2) 軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供
- (3) (1)や(2)を通じた身体能力、日常生活能力の維持向上

を中心に、情緒安定を基盤としたうえで、個々の利用者の心身の状況に応じた、適切な介護を提供し、利用者の社会的自立への働きかけを行いました。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員 (相談支援事業責任者を兼務)
サービス管理責任者	1名	常勤職員 専従
生活支援員	13名	常勤職員 4.75名 非常勤職員 8名 (常勤換算: 11.3名)
看護師	1名	非常勤職員(常勤換算:0.05名)
嘱託医	1名	嘱託(精神科医)

【施設運営方針について】

運営方針項目をさらに進めるため、令和2年度社会福祉法人おおぞら事業計画に則り、職員一人ひとりが事業所経営の視点に立ち、主体的に行動し意識改革に努め、事業の継続や安定性を保ちながら、創意工夫という柔軟性のある運営を目指しました。

【令和3年度重点目標について】

①	研修成果を発表し、現場に生かし、職員育成に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症による研修実施形態の変化に伴い、ZOOMによるオンライン研修会に参加しました。 ・ 研修会の開催そのものが縮小されていることから、研修成果の発表が今一つ積極的に実施できませんでした。 ・ 虐待防止委員会による定期的なセルフチェックを基に会議で虐待防止について啓発研修を行いました。 ・ 研修員会による感染症対策研修では、委員がグループごとにファシリテーターとなり研修の進行、調整をする経験をしました。
②	法人委員会と連携し災害時事業継続計画(BCP)を作成し、計画に沿った事業整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所ごとに災害時事業継続計画(BCP)を作成しました。委員会にて検討を行い、今後定期的な見直しを行いながら実効性の高い計画に仕上げていきます。
③	人事評価制度におけるチャレンジシート作成活用により法人理念の理解と、虐待防止や人権擁護など職員のスキルアップと個人面談による人材育成に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事評価の個別面談を定期実施し、職員個人の課題把握や目標についての確認等を行いました。チャレンジシートは記入・面談時の確認は行いましたが、活用までには至りませんでした。
④	福祉サービス第三者評価の結果を受けて、改善、向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議での報告機会を増やし、学びの共有に努めました。 ・ ボランティア等との活動時の誓約書の取り交わしは、感染症による活動自粛により進んでいません。 ・ BCPを作成し、委員会にて検討、定期的な見直しを行いました。
⑤	利用率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は平均利用実績は90.5%でした。

【新規事業について】

- (1) ・ 法人研修委員会による法人研修ではオンライン研修での発表役を行いました。所内研修ではBCPの確認と役割り担当による話し合いと、非常災害時の備蓄食の試食を行いました。
- (2) ・ 意思決定支援の一環として昨年度試行した「お楽しみの時間」のプログラム選択機会を増やし、利用者の意思発信をより丁寧に、正確にとらえる試みを継続しました。プログラムは定着し、参加の幅に広がりが出て、利用者の能動的な動きが増えてきており、意思表示の理解が支援者にも深まっています。

【作業支援方針について】

個別支援計画に基づき、一人一人の興味・関心・能力を把握し、自己選択、自己決定を大切に作業支援を行いました。

作業を通して機能維持や向上、集中力や持続力、責任感や創造力へ働きかけをしました。情緒安定を図りながら社会活動への参加機会の提供を行いました。

【生活支援方針について】

「個別支援計画」に基づき、一人一人の状態にあった支援を行いました。

日中活動における提供プログラムの中で必要かつ適正な支援を行いました。

排泄、食事、更衣など日常生活動作や掃除や交通ルール等日常生活関連動作の働きかけを通して集団意識などの働きかけを行いました。

【保健衛生について】

健康の維持促進、疾病の予防、早期発見を目的に連絡帳による家庭との連携を密に支援をしました。

- (1) 年2回の健康診断を実施しました。
6月、協力医療機関(日野台診療所)にて実施
1月、嘱託医による聴打診は感染状況を鑑み中止しました。
- (2) 2ヶ月に1回、奇数月下旬に嘱託医(精神科)による相談日を設けました。

- (3) 週1回看護師による健康状態の把握と保健衛生対応を行いました。
- (4) 毎月上旬に体重・血圧を測定し、記録を家庭にも通知しました。
- (5) 身体機能の低下の予防と体力維持のため、体を動かす促しを積極的に行いました。

【食事の提供について】

委託による給食提供を行いました。業者は、価格はもとより、安心安全な食材使用や季節感のあるメニューの豊富さなどを基準に選定しました。

(実績)	利用者	4,257 食	職 員	1,257 食	総提供数	5,546 食
	ボランティア	1 食	実習生	31 食		

【送迎について】

生活介護事業の利用促進と福祉の増進を図ることを目的に、送迎を必要とする利用者については、送迎サービスの提供をしました。

令和3年度、年間延べ利用実績は 7,602名でした。

月別送迎実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(1)	
728	640	790	704	702	695	4,259	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計(2)	合計(1)+(2)
719	699	699	576	425	769	3,887	8,146 名

【家庭との連携について】

利用者の状況を把握するため、家庭との連携を密にし、より利用者のニーズに合った支援を行うため、次のことを実施しました。

- (1) 感染症の影響で参集しての家族会は実施できませんでした。文書により近況を含め報告しました。
- (2) 毎日の利用で連絡帳、電話連絡等により家族との意思疎通を図りました。
- (3) 支援計画の説明、修正時には希望により面談を行いました。
- (4) 家族との合同学習会、施設見学会は計画、実施できませんでした。

【関係機関との連携について】

利用者の継続した地域生活と充実した生活のために、利用者、ご家族了承の下、利用しているサービス提供機関と連携し、協力を努めました。

【地域交流について】

法人理念にもあるように「ともに歩む事業体」「地域福祉に貢献できる事業体」として、社会の一員としての自覚を持ち、地域社会に親しみやすい関係づくりに努めました。
各グループごとに6月以降、8回の近隣の清掃「地域清掃」を行いました。
地域の要望に応え、日野台地区センターの管理・受付業務を行ないました。

【ボランティアの受け入れについて】

感染症の影響でボランティアの受け入れはありませんでした。

(延べ人数)

行事ボランティア	0名	活動ボランティア	0名	体験ボランティア	0名
				総計	0名

【実習生の受け入れについて】

(1) 福祉施設・保育実習<大学等より>

介護等体験実習生	0名	社会福祉士実習生	0名
----------	----	----------	----

(2) 特別支援学校等現場実習

・実習生 3名

【会議について】

定例・随時の会議を次のとおり開催しました。

職員朝礼	毎日	支援員終礼	毎日
職員会議	11	支援員会議	20
ケース会議	0	総括会議	12

【職員研修について】

生活介護事業の目的達成及び職員の資質・知識及び技能の向上のために各種研修会、講演会等に積極的に参加し、多様化するニーズへ対応できる専門性を高め、事業に活かす努力をしました。

・施設内研修(OJT)

職員会議において施設長・サービス管理責任者より虐待防止及び基本的接遇・自閉症支援における支援者の姿勢に関する研修を実施しました。日常支援における言葉遣いや声の強弱、表情や呼称について具体的な場面に応じたOJTを実施しました。

・下記の通り研修に参加しました。

東社協 知的発達障害部会			東京都福祉保健局		
強度行動障害基礎研修(zoom)	支援員	1	社会福祉事業従事者人権研修【I】(zoom)	支援員	2
東京都障害者通所活動施設職員研修会(zoom)	支援員	1	社会福祉事業従事者人権研修【II】	支援員	2
人間関係におけるストレスマネジメント(zoom)	支援員	1			

東京都医師会			
医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修「セルフケア」(zoom)	支援員	2	名
医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修「ラインケア」(zoom)	支援員	1	

＊事業所内研修

BCP研修	参加日： 令和4年1月7日(金)	13名
歯科衛生研修	参加日： 令和4年1月27日(木)	3名

＊法人内研修□

感染症研修	実施日： 令和3年11月12日(金)、18日(木)	12名
研究発表(zoom)	実施日： 令和4年1月21日(金)	7名

【修繕について】

- ・ 天井・壁塗装、床・建具等更新工事 1件

【安全管理について】

日常支援における安全管理のための環境整備に努めました。また、利用者の体調変化等に気を配り、異変等があった場合は早期に家庭と連絡を取り適切に対応しました。

- (1) 防災対策として以下を実施しました。

避難訓練	12回
------	-----

- (2) 防犯対策

事業所周辺の整理整頓に心がけるほか、必要に応じ警備会社と連携を行いました。

【緊急時の対応について】

- (1) 事故等、緊急対応が必要な事態が生じた場合は、「危機管理マニュアル」に基づいて職員が速やかに適切な対応、行動がとれるよう努めました。
- (2) 各家庭との連絡については、電話連絡網や個別対応により速やかな対応を図りました。
- (3) 警備会社とは、深夜、土曜、日曜日および祝祭日における緊急事態についても、職員に連絡が入り、連携して対応できるようにしました。

【災害対策について】

- (1) 地震・火災については「防災マニュアル」に則り、自衛消防隊組織の各役割分担の対応を行うために、1か月に1回の火災想定避難訓練を行いました。そのうち2回は地震想定後の火災発生による避難訓練を行いました

- (2) 毎年実施している所内研修において、大規模災害想定によるBCP(事業継続計画)に沿った、役割変更及び対処内容について研修を行い、職員各員の大規模災害時の動きや、緊急避難時の対応物品の確認、それに伴う基本的対応の情報共有を行いました。

【感染症対策について】

- (1) 日常支援におけるグループ化によるソーシャルディスタンスの確保、消毒、検温、手洗いの奨励、食事介助時のフェイスガードの導入などにより、飛沫感染、接触感染のリスクを低減させる取り組みを行いました。
- (2) 法人感染症員会主導により、感染・濃厚接触及び感染の疑いまでを含めた対応マニュアルにより1月下旬の発生時には、適切な対処による早期終息ができたことと、その後の厚生労働省の通知等からの対応マニュアルの更なる整備(Ver6)により、対応がわかりやすく、運用しやすいものとなりました。

【虐待防止のための措置について】

ヒヤリハットや、毎日の終礼で職員個々人が振り返りを行うとともに、職員会議での定期的な意識啓発を実施しました。法人虐待防止委員会による「虐待防止マニュアル」にのっとり、職員セルフチェックリストを実施し、虐待防止マネージャーによる事業所支援現場の見学受け入れ、会議参加により虐待防止意識の啓発に努めました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

個人情報の取得時には、個人情報の使用目的を利用者に理解いただき、同意を得た上で情報を取得しました。また、個人情報の適正管理と安全管理に適切、迅速かつ効率的な対応ができるように、責任体制を明確化しました。

更に、利用者が気軽に問い合わせることができるような体制づくりに努めました。

【苦情解決について】

苦情はありませんでした。

家族からの相談等に関しては誠意をもって対処し、適切に対応することができました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

週間・日課表(別紙1参照)

年間行事実施(別紙2参照)

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 4,381名、年間平均稼働率 90.5%、1日平均利用者数 18.1人でした。 ・令和3年度中の新規登録者1名。 退所者0名 令和3年度末、定員20名に対して登録者人数は21名です。 ・送迎サービス利用実績は述べ 8,146名でした。 <p>※ 「年齢障害別状況及び障害程度区分別利用者状況」(別表1-1)、 「月別利用状況」(別表1-2)参照</p>			
修繕 実施状況	実施日	修繕項目	施工業者等	金額
	令和3年9月10日～30日	天井・壁塗装、床・建具更新工事	キングランリニューアル株式会社	8,745,000 円
事故処理 状況	発生年月日	事故内容	処理状況	
	令和3年7月7日	車両降車後の転倒による擦過傷	整形外科受診、消毒塗布薬にて継続受診なし	
	令和4年1月28日	新型コロナウイルス感染者発症	1月28日から2月4日まで閉所しました。	

週間表・日課表

(別紙1)

	月	火	水	木	金	
8:30						
8:35	職員朝会・支援員朝会					
9:55	送迎					
10:05	登所・排泄・着替え・他					
10:30	朝会	朝会	プログラム 全体 リズム体操 運動 ┌	朝会	朝会	朝会
	音楽・体操	音楽・体操		音楽・体操	音楽・体操	音楽・体操
	作業	作業		作業	リトミック	作業
	屋外作業・缶回収他	屋外作業・缶回収他		屋外作業・缶回収他	原則として 月2回	屋外作業・缶回収他
	屋内作業 ┌ 缶作業 手芸 ほか ┌	屋内作業 ┌ 缶作業 手芸 ほか ┌		屋内作業 ┌ 缶作業 手芸 ほか ┌	屋内作業 ┌ 缶作業 手芸 ほか ┌	屋内作業 ┌ 缶作業 手芸 ほか ┌
11:30						
11:40	排泄・着替え・休息他					
12:15	昼食					
13:30	後片付け・歯磨き・休憩					
14:30	作業 創作 散歩 ドライブ	作業 創作 散歩 ドライブ	作業 創作 散歩 ドライブ	ゆとりの時間 掃除・余暇時間	作業 創作 散歩 ドライブ お楽しみの時間	
14:40	お茶の時間			着替え・排泄	お茶の時間	
15:00	余暇時間			帰宅準備	余暇時間	
15:10				帰りの会		
15:20	着替え・排泄			送迎	着替え・排泄	
15:30	帰宅準備				帰宅準備	
15:40	帰りの会				帰りの会	
17:00	送迎				送迎	

令和3年度		年間行事実施				はくちょう	
月	所内行事		所外行事		その他		
	行事名	実施日	行事名	実施日	行事名	実施日	
4	クッキング	4/16					
5							
6			外出喫茶	6/8～29	利用者健康診断	6/17	
7	七夕	7/9					
8					嘱託医相談日	8/27	
9	クッキング	9/4	外出喫茶	9/9～28	嘱託医相談日	9/24	
10	クッキング	10/1				10/29	
11	クッキング	11/5	第24回みんなと一緒の運動会オンライン	11/4	法人研修	11/12	
			買い物外食	11/8～30	法人研修 嘱託医相談日	11/18 11/27	
12	クッキング	12/3	招待行事 (援農の会)「収穫祭」	12/10	インフルエンザ予防接種	12/2	
			クリスマス会 <はくちょう>	12/17			
			法人作品展 (日野市民会館2階展示室)	12/24～26			
1	クッキング				所内研修会	1/7	
					法人職員研修発表会	1/21	
2	節分・豆まき	2/4					
3	ひなまつり	3/4			嘱託医相談日	3/25	
	クッキング	3/11					
		3/18					
その他	※1 その他、身体測定を毎月行いました。避難訓練を12回行いました。 ※2 利用者の誕生日に誕生会を行ないました。 ※3 「リズム体操」(年8回)、「リミック」(年21回)、「運動」(年6回)行ないました。 ※4 グループ毎に計8回の地域清掃に取り組みました。						

年齢障害別状況及び障害支援区分別利用者状況

(別表1-1)

(令和4年3月31日現在)

年 齢 性 別	～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
愛の手帳	1度	1									1
	2度	2	1	1	2	3	3	1	3		16
	3度		1					1			2
	4度							1		1	2
	小計	3	2	1	2	3	3	3	3	1	0
障害支援区分	区分1										0
	区分2										0
	区分3									1	1
	区分4	1						1			2
	区分5		1			1		1			3
	区分6	2	1	1	2	2	3	1	3		
小計	3	2	1	2	3	3	3	3	1	0	21
精神保健手帳所持者	1						2				3
身障手帳保有者					2			1			3

※ 在籍者の最年少は19歳、最年長は62歳です。
平均年齢は、40.8歳でした。(男性:43.9歳 女性:37.8歳)

月別利用状況

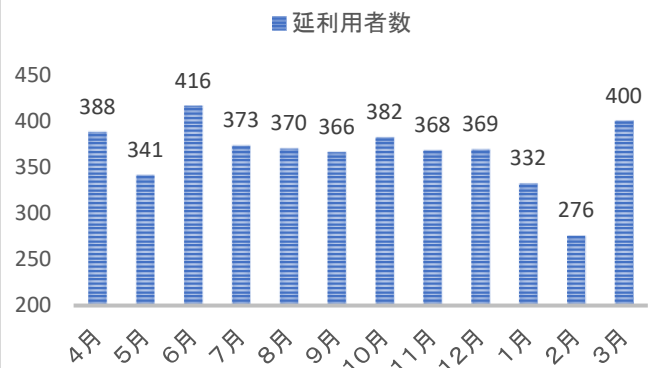
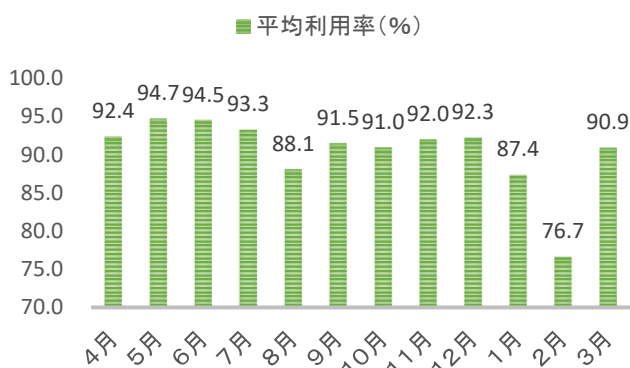
(別表1-2)

月	4	5	6	7	8	9	小計	年間集計	
開所日数	21	18	22	20	21	20	122	242	日
定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	人
在籍者数	21	21	21	21	21	21	126		人
最大利用者数	420	360	440	400	420	400	2,440	4,840	名
延利用者数	388	341	416	373	370	366	2,254	4,381	名
平均利用率(%)	92.4	94.7	94.5	93.3	88.1	91.5	92.4	90.52	%
月	10	11	12	1	2	3	小計		
開所日数	21	20	20	19	18	22	120		
定員数	20	20	20	20	20	20	20		
在籍者数	21	21	21	21	21	21	126		
最大利用者数	420	400	400	380	360	440	2,400	4,840	名
延利用者数	382	368	369	332	276	400	2,127	4,381	名
平均利用率(%)	91.0	92.0	92.3	87.4	76.7	90.9	88.6	90.52	%

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。
※ 最大利用者数は、定員20名に開所日数を乗じた数です。

平均利用率(%)

延利用者数



令和 3 年度	事 業 報 告	就労継続支援B型 つ ば さ
---------	---------	-------------------

総括
自己評価

令和3年度については、前年度同様にコロナウイルスに翻弄される一年でした。施設内の徹底した消毒や利用者の健康チェック、密にならない様な部屋の使い方、利用者ほぼ全員の送迎と、感染予防や感染を広げない工夫をしてきました。しかし、3月に1名の利用者の陽性が判明し、感染防止のため3日間施設を閉所しました。幸いなことに感染者は他に広まらずに済みましたが、家族、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

作業関係ではコロナ禍で受注量が減り、目標とする平均工賃を支給することが出来ませんでした。陶芸品や箱折作業、屋外での公園清掃、小学校の花壇の清掃等、利用者の希望や特性にあった作業を提供することが出来ました。

利用者関係では、4月に特別支援学校卒業生を3名迎え入れる事ができ、登録者は35名となりました。ここ数年利用者の高齢化や体力的に作業に向かい合う事が困難な方への対応が課題でしたが、従来の作業と切り離れた園芸や創作を主な活動とするグループを作り、高齢化への対策に動き始めました。今後も働く場としての作業の提供と、そこにのれない方への対策を上手く組み合わせ支援していきます。

職員関係では、12月と3月に生活支援員が退職し、臨時職員を雇用し対応しました。余暇支援としては、外出行事を中止したなかで施設内で楽しめる様な行事を行い、作業に向かう気持ちを高めました。

コロナの終息は見えませんが作業と余暇のバランスを考慮し、利用者が笑顔で施設での生活を送れるように引き続き支援していきます。

【施設概要】

事業の目的

通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある障害のある方に対し、生産活動などの機会の提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行いました。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員
サービス管理責任者	1名	常勤職員
生活支援員	6名	常勤職員 1名・非常勤職員 5名(常勤換算2.4名)
職業指導員	1名	常勤職員
目標工賃達成指導員	1名	常勤職員
運転手	1名	非常勤職員 (常勤換算: 0.5名)
看護師	1名	非常勤職員

【施設運営方針について】

利用者一人ひとりが生きがいのある生活を送ることが出来るよう、作業支援を中心に生活支援、余暇支援を充実させました。

また、利用者が日々生き生きとした施設生活を送ることが出来るよう、職員は利用者個々の個別支援計画に基づき支援を実施しました。

【令和3年度重点目標について】

①	登録者及び稼働率の向上	新規登録者3名。延べ利用者数7,845名(前年度比696名の増)
---	-------------	----------------------------------

②	感染症対策の徹底	利用者の健康状態の把握や施設内の消毒等の徹底を図りましたが、利用者1名の陽性が判明し、3日間施設を閉所しました。
③	作業収入	作業収入は8,011,901円でした。(前年度比 503,480円増)
④	作業工賃	平均工賃は13,000円を目指しましたが、平成3年度の平均工賃は11,394円でした。(前年度比 1,541円減)
⑤	余暇支援の充実	コロナ禍による外出行事を制限したため、施設内で楽しめる「お楽しみ行事」やクラブ活動を週2回に増やし、仕事だけではなく余暇の充実を図りました。
⑥	虐待防止等の研修の参加	虐待防止、強度行動障害の研修に参加し、研修参加者による施設内の研修を実施しました。
⑦	地域貢献	大空祭、自治会の夏祭りが中止となり地域貢献活動が出来ませんでした。
⑧	福祉サービス第三者評価の受審	「特定非営利活動法人あすねっと」による利用者調査(9/28)、施設への訪問調査(12/8)を受け「特に良いと思う点」「さらなる改善が望まれる点」の指摘を受けました。

【令和3年度新規事業について】

①	利用者の年齢や体力に見合った作業の組換え	年齢、体力から作業に向かうことが困難な利用者に対し、園芸や創作的活動を主とするグループを試行的に作り活動しました。
②	建物壁面の工事、自動水栓の切替	建物南側壁面のタイルの修繕及びトイレを改修しブースを広げ、自動水栓に切替ました。

【実施事業について】

作業全体の収入	8,011,901円
---------	------------

①	作業科目	(自主生産) ・陶芸品、石鹸等の製造販売 (受託作業) ・封入・封緘業務 ・市内5箇所の公園清掃 ・箱折 ・やまばと及びしえろの清掃 ・日野市指定のごみ袋の販売 (その他) ・資源物の回収(新聞紙・ダンボール・アルミ缶等) ・自動販売機の管理・第六小学校の花壇等の手入れ				
②	作業支援方針	利用者個々の適性や興味等を勘案し、個別支援計画及び作業支援計画に基づき支援しました。				
③	工賃の支払	売上から必要経費を控除した金額を毎月10日に工賃として支給しました。 ・工賃：延408人支給総額 4,648,894円 (前年度比 163,249円減) ・月額工賃実績 <table border="1"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>11,394円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12,935円</td> </tr> </table>	令和3年度	11,394円	令和2年度	12,935円
令和3年度	11,394円					
令和2年度	12,935円					

【生活支援方針について】

- (1) つばさを利用する人達の個人の尊厳が保持され、心身ともに健やかに一人ひとりの個性に応じた施設生活が営めるように適切な福祉サービスを提供しました。利用者の支援にあたっては、「個別支援計画」に十分留意し、家族と協力し支援しました。

① 日常生活	食事のマナーや毎日の服装等、日常生活に係わる支援を行いました。
② 地域社会を通じた活動	近隣自治会の夏まつり、大空祭等は中止となり、活動に参加することはできませんでしたが、12月に法人作品展を開催しました。
③ 余暇活動	クラブ活動やお楽しみ会等、施設内での行事を中心とした余暇支援、生活支援を目的とした様々な活動を提供しました。
④ 行事	(別紙2参照)

【保健衛生について】

利用者の健康状態を常に把握し必要な対応をしました。

- (1) 作業室、食堂に手作りのアクリル板約30台を設置しました。また、空気清浄機を各部屋に設置し、足踏み式のアルコール消毒機も購入し感染予防に努め、利用者の通所前と通所後の2回、全部屋の消毒を行いました。また、検温についても1日2回測定しました。
- (2) 新型コロナウイルスへの感染の疑いが生じた場合の対応マニュアルを作成し、職員に周知徹底しました。また、嘔吐物の処理キッドを整理し、実践形式での嘔吐物の処理方法について研修しました。
- (3) コロナウイルス対策として、ほぼ利用者全員を車両による送迎に切り替えました。送迎車両は今までの2台から4台に増やし、一度に乗車する人数を減らすため送迎回数を増やし、感染予防に努めました。
- (4) 利用者の家族向けに、施設で行っている感染症対策について分かり易く写真入りで状況をお知らせしました。また、毎月のおたより等で健康に関する情報を提供し、健康意識の啓蒙と、疾病、事故防止にも努めました。
- (5) 協力医療機関でもある日野台診療所及びつばさにおいて、身長、体重、レントゲン、血圧、血液検査、問診等の健康診断を実施しました。また、施設においてコロナワクチンの接種(3回)及びインフルエンザの予防接種も行いました。
- (6) 各利用者の衛生面及び健康状態を常に把握するために、下記の内容を実施しました。

・ トレーニング	毎日(ラジオ体操)
・ 健康診断 (5/13・5/27)	1回(血液検査、問診、尿・腸内細菌検査、聴打診)
・ ワクチン接種(8/19・9/9・3/17)	施設内でコロナワクチンを接種しました。
・ インフルエンザの予防接種(11/11)	1回
・ 大掃除	12回(各部屋の清掃)
・ 手すり、トイレ、各部屋の清掃消毒	毎日実施

【食事の提供について】

経費の節減、継続的な給食事業を実施するために、給食事業を委託しました。
委託先:一富士フードサービス(株)

【就労対策について】

就労に必要な情報の収集等を行いました。

【家庭との連携について】

家族会は1回開催しました。

・ 家族会	12/17家族会を実施しました。
・ 担当支援員との懇談会	実施できませんでした

(家族との合同行事)

・ 大空祭	中止
・ もちつき	中止

【関係機関との連携について】

日野市及び特別支援学校との連携を深め情報交換を行い、七生特別支援学校から3名の利用者が入所しました。

【地域交流について】

地域との交流事業は実施できませんでした

【ボランティアの受け入れについて】

ボランティアの受け入れは行いませんでした。

【実習生の受け入れについて】

特別支援学校等(現場実習)	0名
特別支援学校等(インターンシップ)	4名
免許法の特例による介護等体験実習	0名

【会議について】

下記の通り、開催しました。

支援員会議	14回
ケース会議	2回
評定会議	2回
職員会議	2回

【職員研修について】

職員は、職務遂行に全力をあげるとともに、多様化する需要に対応できるよう自己研鑽により専門性を磨き、利用者支援の向上に努めました。

下記の通り研修に参加しました。

日時	内容	参加者	
令和3年6月16日～(6回)	強度行動障害アドバンス研修	支援員	1名
令和3年7月26日～	サービス管理責任者基礎研修	支援員	1名
令和3年8月4日	人権擁護研修	支援員	1名
令和3年8月19日	「災害時に福祉が担う役割」	施設長	1名
令和3年8月19日	障害者虐待防止・権利擁護研修	支援員	1名
令和3年9月30日	「地震、水害災害支援力を身に着ける」	支援員	1名
令和3年10月14日・15日	初任者研修	支援員	1名
令和4年1月11日	サービス管理責任者更新研修	支援員	1名
令和4年2月25日	サービス管理責任者更新研修	支援員	1名
令和4年3月9日	「人材が定着する施設へ～」	施設長	1名
令和4年3月18日	「地域福祉権利擁護事業をもっと身近に」	施設長	1名

*法人研修として下記の内容を実施しました。

令和3年6月14日・16日	「災害対策・福祉避難所とは～」	9名
令和3年9月15日	虐待防止研修	9名
令和3年11月22日	感染症対策(嘔吐物の処理)	9名
令和4年1月21日	職員研究発表会	7名

* 感染症委員会主催による実践形式での研修を実施しました。

【修繕について】

下記のとおり計画的に修繕を実施しました。

実施日	修繕項目	施工業者	金額
令和3年5月26日～	外壁タイルの補修工事(南面)	キングランリニューアル(株)	4,840,000 円
令和4年1月25日～	トイレ便器の更新及び自動水栓工事	キングランリニューアル(株)	9,732,800 円

【災害対策について】

(1) 防災対策

消防計画に基づきに火災を想定した避難訓練を実施しました。

(2) 訓練等実施状況

事業所内、事業所外で利用者の安全を図るため下記のとおり訓練を実施しました。

①	火災を想定した避難訓練	4回実施
②	地震を想定した訓練	1回実施
③	福祉避難所開設訓練	1回実施

【感染症対策について】

(1) 日常的な対策

利用者への一日2回の検温を実施し、健康状態の把握に努めました。各部屋にアルコール消毒液を設置し、入室前の手指消毒を徹底しました。また、全部屋の換気を一日2回行いました。

(2) 環境整備

トイレの洗面所等の自動水栓化を図りました。

(3) 感染症の発生及びまん延防止

3月11日利用者1名(女性)の新型コロナウイルス陽性が判明し、14日から3日間、施設を閉鎖しました。

(4) 職員に対する研修

感染症委員会を定期的開催し「新型コロナウイルス感染対応マニュアル」を作成しました。感染が疑われる場合の対応等についての基本としました。また、「嘔吐物の処理の対応」についての実技を伴う研修を実施しました。

【緊急時の対応について】

①	自然災害時等の緊急の家庭への連絡については、電話連絡網やメールにより、速やかな対応を図りました。
②	警備会社とは、深夜、土・日曜日及び祝祭日における緊急事態についても、職員に連絡が入り、連携して対応できるようにしました。
③	緊急時対応マニュアルを整備し、組織、任務分担を整備し、万一の緊急事態にも、速やかに適切な対応がとれるようにしました。

【虐待防止のための措置について】

ヒヤリハットや、毎日の終礼で職員個々人が振り返りを行うとともに、職員会議での定期的な意識啓発を実施しました。法人虐待防止委員会による「虐待防止マニュアル」に則り、職員セルフチェックリストを実施し、会議参加により虐待防止意識の啓発に努めました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

個人情報の取得時には、個人情報の使用目的を利用者に理解いただき、同意を得た上で情報を取得しました。また、個人情報の適正管理と安全管理に適切、迅速かつ効率的な対応ができるように、責任体制を明確化しました。

【苦情解決について】

利用者及び家族からの苦情はありませんでした。
家族からの相談等に関しては誠意を持って対処し、適切に対応することができました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

週間・日課表(別紙1参照)

年間行事実施(別紙2参照)

利用状況

- ・延べ利用者数7,845名、年間平均稼働率80%、1日平均利用者数32名でした。
- ・令和3年度末、定員40名に対して登録者人数は35名です。

※ 「年齢障害別状況及び障害程度区分別利用者状況」(別表1-1)、
「月別利用状況」(別表1-2)参照

事故処理
状況

発生年月日

事故内容

処理状況

事故はありませんでした。

週 間 ・ 日 課 表

(別紙1)

時 間	月 曜	火曜	水曜	木曜	金曜	毎月第1及び第3 土曜日
9:00 9:15 9:30 12:00 13:00 15:00 15:35 15:45 15:55 16:00						8:30
	登 所・更 衣					土曜活動
	ミーティング					
	トレーニング					
	作 業 開 始					
	昼 食・休 憩					
	作業開始				作業開始	
		クラブ活動				
	作業終了				作業終了	
	全体清掃					
	お 茶					
	更衣・連絡帳記入					
	ミーティング					
	降 所					
						14:30

令和3年度		年間行事実施			つばさ
月	行 事 名				その他
	施設内	施設外	土曜活動	避難訓練	
4	入所式(4/1) 花見(4/1)				
5	端午の節句(5/7) 健康診断(5/13) お楽しみ会(5/14)	健康診断(5/27) (日野台診療所)		5/28 避難誘導訓練 (31名参加)	
6	お楽しみ会(6/18)				
7	七夕(7/7) ポッチャ(7/7) お楽しみ会(7/16)			7/27 避難誘導訓練 (33名参加)	7/1・7/2・7/7・7/8七生特支高等部2年生実習生受け入れ(3名)
8	お楽しみ会(8/27) ワクチン接種(8/19)				
9	お楽しみ会(9/17) ワクチン接種(9/9) お月見(9/21)			9/24 避難誘導訓練 (32名参加)	
10	地域美化活動(10/1) お楽しみ会(10/22) お月見(10/1)				
11	インフルエンザ予防接種(11/11) ポッチャ(11/24)		11/6 三井アウトレットパーク 利用者18名参加 11/20 陵南公園 利用者19名参加		
12	東京都知事賞表彰式(12/15) 忘年会(12/27) 大掃除(12/28) 第三者評価(12/8)	ミュージカル鑑賞(12/21) 府中の森芸術劇場 法人作品展(12/24～12/26) 日野市民会館2階展示室	12/11 三鷹跨線橋 利用者14名参加 12/18 小宮公園 利用者16名参加	12/2 地震を想定した訓練 福祉避難所開設訓練 (33名参加)	12/17 家族会
1	新年会(1/4)		1/8 高幡不動 利用者16名参加 1/22 わかぐさ公園 利用者17名参加	1/26 避難誘導訓練 (30名参加)	1/24.1/25七生特支高等部2年生受け入れ1名)
2	節分(2/3)				
3	ひなまつり(3/3) ワクチン接種(3/17)	お花見(3/30) 旭が丘中央公園			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 毎月誕生日会を実施しました 毎週月曜日、水曜日の午後クラブ活動を実施しました 				

年齢障害別状況及び障害支援区分別利用者状況

(別表1-1)

(令和4年3月31日現在)

年 齢 性 別	～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
愛の手帳	1度										0	
	2度		1	1			1				3	
	3度	2	1	2	1	3	4	5	2		20	
	4度	1	2			2		1	3		10	
	無		1					1			2	
	小計	3	5	3	1	5	4	8	5		1	35
障害支援区分	区分1											
	区分2	1	3			1		2			7	
	区分3		1			1	1	3	2		8	
	区分4	1		2	1	2	3	1	1		1	12
	区分5		1	1					2		4	
	区分6											0
小計	2	5	3	1	4	4	6	5	0	1	31	
身障手帳保有者			1								1	

※ 在籍者の最年少は19歳、最年長は61歳です。
平均年齢は、42.9歳でした。(男性:43.4歳 女性:42.5歳)

月別利用状況

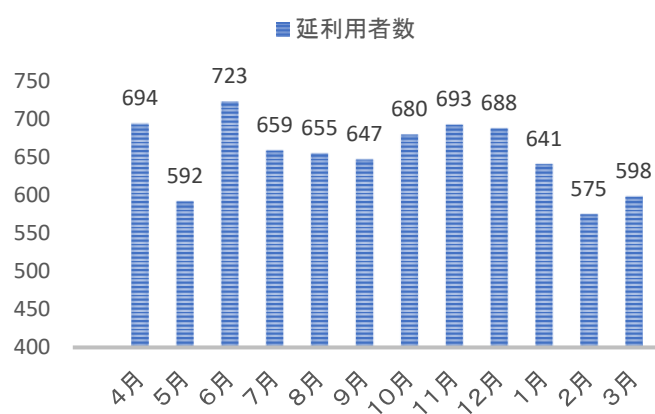
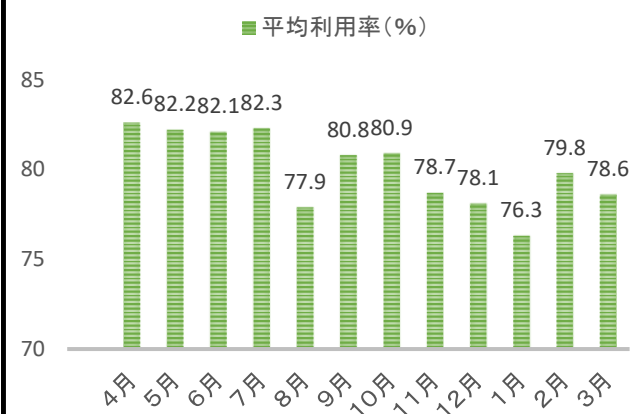
(別表1-2)

月	4	5	6	7	8	9	小計	
開所日数	21	18	22	20	21	20	122	
定員数	40	40	40	40	40	40	40	
在籍者数	35	35	35	35	35	35	—	
最大利用者数	840	720	880	800	840	800	4,880	
延利用者数	694	592	723	659	655	647	3,970	
平均利用率(%)	82.6	82.2	82.1	82.3	77.9	80.8	81.3	
月	10	11	12	1	2	3	小計	年間集計
開所日数	21	22	22	21	18	19	123	245 日
定員数	40	40	40	40	40	40	40	40 人
在籍者数	35	35	35	35	35	35	—	— 人
最大利用者数	840	880	880	840	720	760	4,920	9,800 名
延利用者数	680	693	688	641	575	598	3,875	7,845 名
平均利用率(%)	80.9	78.7	78.1	76.3	79.8	78.6	78.7	80.0 %

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。
※ 最大利用者数は、定員40名に開所日数を乗じた数です。

平均利用率(%)

延利用者数



令和 3 年度	事業報告	地域活動支援センター I 型 やまばと
---------	------	------------------------

**総括
自己評価**

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、検温・手洗い・消毒の徹底により感染者を出すことなく事業を継続することが出来ました。感染への不安から活動を自粛する利用者もいましたが、事業所の取り組みを通じて、自らも感染対策をすることで「やまばとには参加が出来る」といった安心感を持ってもらう事が出来ました。ただ、年明けの感染者激増時はリスクを回避するという意味でマスクを外す機会のある「おやつ作り」と「調理活動」を中止しました。また、地域社会との交流の一環としての利用者交流会についても感染症の影響で企画を変更しながらの実施となりました。

基礎的事業の活動は、前年度の試行期間を経てのスタートとなりました。13のプログラムを提供し、年間の延べ利用人数は2,110名、稼働率43.6%、前年度比+11.3%となりました。活動によっては送迎を2便体制で運行しなければならない状況もあり、定員一杯まで利用を増やすことは職員体制的に困難となっています。また、新規利用者は一桁に留まっています。相談事業所からの紹介もありますが、やまばとの活動に関する広報の必要性も感じます。

機能強化事業に関しては、感染症の影響を大きく受け計画のほとんどが実施できませんでしたが、外出を伴う利用者交流会は受け入れ先との打ち合わせにより障害や事業所に対する理解を深めてもらう良い機会となりました。

また、コロナ禍においての新たな取り組みとして『おおぞら作品展』を開催しました。作品の販売は利用者にとっての大きな励みになり活動への意欲に繋がりました。

【施設概要】

事業の目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づく日野市在宅障害者福祉サービスの拠点として、地域活動支援センターに係る基礎的事業及び機能強化事業を実施することにより、障害者等の地域生活を支援することを目的とします。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員 (地域活動支援センター指導員及び相談支援専門員兼務)
相談員	1名	常勤職員 (特定相談支援事業、障害児相談支援事業の相談支援専門員兼務)
指導員	3名	常勤職員 2(専任1・兼務1) 非常勤職員 1
運転手	1名	非常勤職員 1

【施設運営方針について】

障害者が主体的に活動することが出来るよう体制整備に努めます。また障害者の自立と社会参加を促進する為、利用者相互および地域住民との好ましい交流が図れるよう配慮します。

【令和3年度重点目標について】

地域活動支援センターの利用者だけでなく、在宅で生活する障害者の生活を支援していく為に、地域活動支援センター I 型としての基礎的事業と機能強化事業を有機的な展開に努めました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が限られてしまいました。しかし、感染症予防の対策を徹底することで、事業の継続を図ることが出来ました。

【基礎的事業】

1. 創作的活動の機会の提供

前年度の試行期間を経て新たな活動も含め13種類のプログラムを提供し、延べ2,110名の利用がありました。感染症予防策を徹底し、講師・ボランティアの協力も含め継続して行ってきましたが、年明けの感染症の急拡大を考慮しおやつ作り・調理活動を休止しました。

職員が介入しない自主活動への取り組みの中で、自身で過ごすことが出来るようになってきた利用者もいました。

活動内容	講師	実施日	実施回数	登録人数	参加延べ人数
軽体操	職員	毎週月曜日・午前	47	6	291
		毎週火曜日・午後	46	5	191
		毎週木曜日・午後	45	9	258
絵てがみ	奈良 一美	毎週月曜日・午後	47	3	129
音楽療法	占部 理恵子	毎週火曜日・午前	50	8	289
おりがみ	職員	第1・3・5水曜日・午前	22	7	100
おやつ作り	職員	第1水曜日・午後	8	12	72
個別活動	職員	第2・第3水曜日・午後	22	9	83
		第3木曜日・午前	13	4	47
DVD鑑賞会	職員	第3水曜日・午後	10		44
リズム体操	前田 致加子	第2・第4水曜日・午前	23	8	126
ミニスポーツ	職員	第5水曜日・午後	3	8	21
歌で遊ぼう	太田 浩美	第4水曜日・午後	11	8	62
		第1木曜日・午前	12	7	66
散歩	職員	第2木曜日・午前	12	5	54
調理活動	職員	第4木曜日・午前	8	6	41
籐工芸	張替 早智子	毎週金曜日・午後	49	4	132
自主活動			9	5	20
利用者交流会	職員	毎月1回・午後	12		84
合計			449		2,110

* 活動時間 午前 9:30~11:30 午後 13:30~15:30

* 個別の活動の成果の発表として『肢体不自由児・者の美術展』に2名が出展

<月別利用状況>

※ 1日定員20名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
開所日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	
月末登録者数	24	27	29	30	28	30	31	31	30	30	29	28		
延べ利用人数	179	164	214	188	185	169	174	176	174	164	133	190	2,110 (R2年度)	
稼働率(%)	42.6	45.6	48.6	47.0	44.1	42.3	41.4	44.0	43.5	43.2	36.9	43.2	43.6	32.3

<送迎利用状況>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行回数	75	65	83	75	77	73	80	76	78	72	66	74	894
延べ利用人数	255	220	249	244	242	229	232	238	242	232	188	248	2,819

2. 利用者交流会

曜日固定で活動に参加している利用状況を考慮し、3つの曜日での開催に変更しました。新型コロナウイルス感染症の影響で企画変更となる月もありましたが延べ84名の参加がありました。また、受け入れ先とは打ち合わせを持つことで障害に対する理解を深めてもらう機会となりました。

食事を伴う1日を通した外出行事は、感染症を考慮しすべて中止としました。

実施日	実施内容	参加者数
4月22日(木)	立川グリーンズプリングス	7
5月12日(水)	八王子日本閣 バラ園	5
6月22日(火)	府中郷土の森博物館	7
7月14日(水)	KDDI MUSEUM	7
8月31日(火)	桑都日本遺産センター八王子博物館	7
9月30日(木)	町田ダリア園	7
10月26日(火)	立川防災館<体験>	8
11月17日(水)	町田リス園	9
12月16日(木)	クリスマス ボウリング大会	8

1月19日(水)	島田電機製作所	7
2月22日(火)	歌で遊ぼうプラス (事業所内)	3
3月17日(木)	春ラララ ゲーム大会 (事業所内)	9
合計		84

【機能強化事業】

1. 保健・医療・福祉の連携強化

地域活動支援センターの利用者だけでなく、在宅で生活をする障害者及び障害児の地域生活の支援の為に、保健・医療・福祉の連携が欠かせません。日頃からのスムーズな連携の為に、日野市自立支援協議会(本会・相談支援部会)、日野市障害者差別解消支援地域協議会等に積極的に参加し、関係機関の情報収集に努めました。

2. 地域ボランティアの育成

日頃の活動や行事等にボランティアを積極的に受け入れる姿勢を持ち続けボランティアセンターにも募集依頼をしてきましたが、感染症の影響もあり新規の受入は出来ませんでした。しかし事業所内でのインフォメーションにより活動中のボランティアの参加枠が増えました。

例年行われてきた第四中学校での『車いす・アイマスク体験』は、新たにボランティアセンターにも協力を依頼しながら準備を進めましたが、緊急事態宣言中により中止となってしまいました。

また、日野市社会福祉協議会主催の『夏の体験ボランティア』は感染症の影響で中止となり受け入れはありませんでした。

3. 障害に対する理解を促す普及啓発

利用者交流会での外出先との打ち合わせにより障害や事業所に対する理解を深めてもらう事が出来ました。利用者の見学を通じてトイレの改修を検討する企業もありました。

また、第四中学校で行われた『福祉講座』には今年度も利用者自らが語る場を設け、障害に対する理解を深めてもらう機会としました。

【地域交流について】

1. 通信やホームページを活用し、施設の情報を積極的に発信してきました。

2. 『おおぞら作品展』開催

日時 12月24日(金)～26日(日)

会場 日野市民会館2階展示室

感染症拡大の状況から今年度も『大空祭』は中止となりました。しかし、活動の成果の発表の場、障害に対する理解を促す普及啓発の場の確保として、つばさ・はくちょうとの協働で『おおぞら作品展』を開催しました。

事業紹介・活動紹介、個別活動を含む4つの創作的活動の作品展示、絵てがみのカレンダー等の販売を行いました。作品作りの様子を写真掲載したことで見学者にも分かりやすく伝わったようです。カレンダーは完売し利用者の励みになり活動への意欲につながりました。

【相談支援について】

(障害児相談支援事業・基本相談を含む)

相談支援としては、地域活動支援センターにおける一般相談と、障害者等相談支援事業、更に特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援があり、これらを全て併せて対応しています。

また、昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、相談はありませんでした。

(相談方法)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	206	191	9	1,907	112	38	1,294	422	4,179

(相談内容)

	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
件数	1,281	1,066	840	688	0	10	83	136	1,722
就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計
183	26	28	390	814	1,434	28	56	185	8,691

【実習生の受け入れについて】

感染対策を講じながら実習生の受入を行いました。

感染症の影響により中学生の職場体験は学校側の中止により受け入れはありませんでした。また、教員免許法の特例による介護等体験の受入についてはオンラインによる受入れの要望があり対応することが出来ませんでした。今後の大きな課題です。

	期間	人数
1 社会福祉士実習	8/2～9/3(24日間)	1

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまばと職員会議	全員	第3金曜日9:00～	12回
地活ミーティング	全員	第3金曜日10:30～	12回
送迎会議	全員	月1回	12回

【職員研修について】

あらゆるニーズに対応出来る様、職員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。

また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主催	研修名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修
	発達障害者相談支援研修「相談支援知識力向上研修」
	令和3年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
	令和3年精神障害計画相談支援従事者養成研修
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】
東京都福祉人材センター研修室	R3年度東京都相談支援従事者専門コース別研修(意思決)
東京都社会福祉協議会	令和3年度リスクマネジメント研修
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会	従事者会学習会「より良い支援を考える～虐待防止・権利研
日野市社会福祉協議会	アルコール依存症と気分障害
	障害者福祉従事者研修「ひきこもりの理解」
	障害年金 地域福祉権利擁護事業をもっと身近に

(2) 事業所内研修

日時	内容
令和3年12月17日(金)	虐待防止・権利擁護

※事例検討会 10回 14ケース

(3) 法人内研修

日時	内容
令和3年6月18日(金)	『災害対策』～福祉避難所の理解を深める～
令和3年9月17日(金)	虐待防止「気づき」
令和3年11月19日(金)	感染症対策・嘔吐物の処理(演習)
令和4年1月21日(金)	職員研究発表会

【修繕について】

①老朽化に伴う修繕を計画的に行いました。

修繕項目	施工業者	金額
東・南面外壁タイルの補修工事	キングランリニューアル(株)	4,840,000 円
事務室空調更新	大平電気	987,800 円
排煙オペレータ更新	秋間ボーリング協会	1,049,400 円
ブラインド交換	西東京企画	1,437,988 円

②感染症対策の為に更新工事を下記の通り行いました。

修繕項目	施工業者	金額
自動水栓への切り替え	秋間ボーリング協会	3,366,000 円
冷温水発生機の設置		
洗濯場の改修		
車イス用トイレ扉更新		
温水便座設置		

③その他改修工事を下記の通り行いました。

修繕項目	施工業者	金額
LAN配線工事	大平電気	228,800 円

【緊急時の対応について】

①体制を整備し緊急時の発生に備えましたが、特に大きな問題はありませんでした。

【災害対策について】

* 事業所全体でつばさとの協働

- ①自衛消防隊を設置し、避難訓練(火災・地震想定)を6回実施しました。
- ②大規模災害時の事業継続計画(BCP)を元に福祉避難所開設訓練を行いました。

【感染症対策について】

- ①うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ②利用者への検温の実施、手洗い・消毒の声掛けを行いました。送迎乗車時の手指消毒を実施しました。
- ③事業所内の消毒の徹底と換気に努めました。
- ④法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。

【事故防止について】

今年度は6件のヒヤリハットの報告がありました。送迎も含め『移動中』での報告が多くみられました。送迎に関してはマニュアルの見直しも行い職員の役割分担も再確認しました。少ない職員体制の中でどの様に利用者の安全を確保するのかの対策が求められています。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。(事業所内研修・法人研修参照) また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

令和 3 年度	事業報告	障害者等相談支援事業 やまぼと
---------	------	--------------------

総括 自己評価	<p>事業所内での職員体制の再編が行われたことで、全体で相談を受ける体制が整いました。また、10月以降相談担当者会議を開催し情報の共有を図る事で日常的にも意見交換が進み、全体で相談の解決を図る仕組みが出来てきました。</p> <p>コロナ禍においてオンラインでの研修が増えたことで参加しやすくなり、様々な研修に参加することが出来ました。多様化する相談に応じられるよう、今後も職員の資質の向上に努めたいと思います。</p>
------------	--

【施設概要】

事業の目的

障害者及び障害児の保護者または障害者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な援助を行う事により、障害者等身近な地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援します。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員（施設長、相談支援専門員・地域活動支援センター指導員兼務）
相談支援専門員	3名	常勤職員（兼務）
事務員	1名	非常勤職員（兼務）

【令和3年度重点目標について】

地域活動支援事業・特定相談支援事業と一体的に運営し、在宅で生活をする障害者の地域生活を支援に努めました。

新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を徹底し、面会や訪問に一定の制限はあるものの事業を滞らせることなく実施してきました。

【実施事業について】

（一般相談・基本相談を含む）

相談支援事業としては、特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援の2つの相談支援があり、更に地域活動支援センター I 型においても一般相談が存在しているため、障害者等相談支援事業はこれらを全て併せて対応しています。

また、昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、相談はありませんでした。

利用状況	(相談方法)									
		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
	件数	206	191	9	1,907	112	38	1,294	422	4,179
	(相談内容)									
		福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
	件数	1,281	1,066	840	688	0	10	83	136	1,722
就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計	
183	26	28	390	814	1,434	28	56	185	8,691	

【関係機関との連携について】

日野市並びに地域の保健、福祉、医療及び教育等、様々な機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

また、日野市自立支援協議会・相談支援部会・差別解消支援地域協議会・わがまる等の会議に参加し情報共有に努めました。

【実習生の受け入れについて】

感染防止策を講じながら実習生の受入を行いました。

感染症の影響により中学生の職場体験は学校側の中止により受け入れはありませんでした。また、教員免許法の特例による介護等体験の受入についてはオンラインによる受け入れの要望があり対応することが出来ませんでした。今後の大きな課題です。

	期間	人数	延べ人数
1 社会福祉士実習	8/2～9/3	1	1

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまばと職員会議	全 員	第3金曜日	12
ケース検討			10
相談支援担当者会議	相談支援専門員	第1金曜日	6

【職員研修について】

多様化・複雑化するニーズに対応出来る様、相談支援専門員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。

また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主 催	研 修 名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修
	発達障害者相談支援研修「相談支援知識力向上研修」
	令和3年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
	令和3年精神障害計画相談支援従事者養成研修
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】
東京都福祉人材センター研	R3年度東京都相談支援従事者専門コース別研修(意思決)
東京都社会福祉協議会	令和3年度リスクマネジメント研修
東京都社会福祉協議会	従事者会学習会「より良い支援を考える～虐待防止・権利研
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業	アルコール依存症と気分障害
日野市社会福祉協議会	障害者福祉従事者研修「ひきこもりの理解」
	障害年金
	地域福祉権利擁護事業をもっと身近に

(2) 事業所内研修

日 時	内 容
令和3年12月17日(金)	虐待防止・権利擁護
※事例検討会 10回	14ケース

(3) 法人内研修

日 時	内 容
令和3年6月18日(金)	『災害対策』～福祉避難所の理解を深める～
令和3年9月17日(金)	虐待防止「気づき」
令和3年11月19日(金)	感染症対策・嘔吐物の処理(演習)
令和4年1月21日(金)	職員研究発表会

【災害対策について】

* 事業所全体でつばさとの協働

- ① 自衛消防隊を設置し、避難訓練(火災・地震想定)を6回実施しました。
- ② 大規模災害時の事業継続計画(BCP)を元に福祉避難所開設訓練を行いました。

【感染症対策について】

- ① うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ② 消毒の徹底と換気に努めました。
- ③ 法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。(事業所内研修・法人研修参照) また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

令和 3 年度	事業報告	特定相談支援事業・障害児相談支援事業 やまぼと
---------	------	----------------------------

総括 自己評価	<p>4月より施設長、10月より地域活動支援センターの指導員が新たに相談支援専門員として加わり、専任の相談支援専門員を中心に3名で支援体制を構築しました。これまでは担当者個人の判断に任されるところが多くありましたが、10月以降は担当者会議を開催し、支援上の課題や情報共有に努め事業所全体で支える仕組みが出来ました。更にこの3名で自立支援協議会を中心とした市内の会議に参加をすることになり、意識の向上にも繋がりました。</p> <p>また、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で訪問や面会に制約がありましたが、関係機関のみ対応可能という事業所も増え比較的足を運ぶことが出来るようになり、関係者会議等を有効的に開催することが出来ました。</p> <p>計画相談の請求実績に関しては、これまでの遅滞した業務が解消され実績に基づく請求となってきました。</p>
------------	--

【施設概要】

事業の目的

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスを総合的かつ効率的な提供に努めました。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員 (施設長、相談支援専門員・地域活動支援センター指導員兼務)
相談支援専門員	3名	常勤職員 (兼務)
事務員	1名	非常勤職員(兼務)

【令和3年度重点目標について】

障害者(児)への継続的かつ計画的なサービス提供に向けて、サービス等利用計画の作成、事業者との連絡調整及び連携と変化に応じた計画の見直しの為のモニタリングの充実を図りました。

また、地域活動支援事業・障害者等相談支援事業と一体的に運営し、市内の関係機関との連携に努め、在宅で生活をする障害者の地域生活の支援に努めました。

新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を徹底し、面会や訪問に一定の制限はあるものの事業を滞らせることなく実施してきました。

【特定相談支援・障害児相談支援事業について】

利用状況	(登録実人数)	149	名	<令和4年3月31日現在>											
	(新規登録者)	4	名												
	(終了者)	3	名												
	(計画書・モニタリング対応件数)														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	計画作成件数	6	2	3	5	10	9	4	5	5	2	4	1	56	4.7
	モニタリング件数	25	31	22	18	16	17	12	15	18	15	25	24	238	19.8
	合計	31	33	25	23	26	26	16	20	23	17	29	25	294	24.5

(計画相談請求実績)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
障害者	155	217	221	405	359
障害児	1	7	25	8	8
計	156	224	246	413	367

【基本相談支援について】

(一般相談・障害者等相談支援を含む)

相談支援事業としては、特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援の2つの相談支援があり、更に地域活動支援センター I 型の一般相談と委託事業としての障害者等相談支援事業が存在しているため、これらを全て併せて対応しています。

また、昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、相談はありませんでした。

(相談方法)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	206	191	9	1,907	112	38	1,294	422	4,179

(相談内容)

	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
件数	1,281	1,066	840	688	0	10	83	136	1,722
	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計
183	26	28	390	814	1,434	28	56	185	8,691

利用状況

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまぼと職員会議	全員	第3金曜日	12
ケース検討			10
相談支援担当者会議	相談支援専門員	第1金曜日	6

【実習生の受け入れについて】

感染防止策を講じながら実習生の受入を行いました。

	期間	人数	延べ人数
1 社会福祉士実習	8/2～9/3	1	1

【職員研修について】

あらゆるニーズに対応出来る様、相談支援専門員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。

また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主 催	研 修 名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修
	発達障害者相談支援研修「相談支援知識力向上研修」
	令和3年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修
	令和3年精神障害計画相談支援従事者養成研修
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
	社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】
	R3年度東京都相談支援従事者専門コース別研修(意思決)
東京都福祉人材センター研	令和3年度リスクマネジメント研修
東京都社会福祉協議会	従事者会学習会「より良い支援を考える～虐待防止・権利研
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業	アルコール依存症と気分障害
日野市社会福祉協議会	障害者福祉従事者研修「ひきこもりの理解」
	障害年金
	地域福祉権利擁護事業をもっと身近に

(2) 事業所内研修

日 時	内 容
令和3年12月17日(金)	虐待防止・権利擁護
※事例検討会 10回 14ケース	

(3) 法人内研修

日 時	内 容
令和3年6月18日(金)	『災害対策』～福祉避難所の理解を深める～
令和3年9月17日(金)	虐待防止「気づき」
令和3年11月19日(金)	感染症対策・嘔吐物の処理(演習)
令和4年1月21日(金)	職員研究発表会

【災害対策について】

* 事業所全体でつばさとの協働

- ①自衛消防隊を設置し、避難訓練(火災・地震想定)を6回実施しました。
- ②大規模災害時の事業継続計画(BCP)を元に福祉避難所開設訓練を行いました。

【感染症対策について】

- ①うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ②消毒の徹底と換気に努めました。
- ③法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。(事業所内研修・法人研修参照) また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

令和 3 年度	事業報告	放課後等デイサービス 障害児放課後クラブ
---------	------	-------------------------

総括 自己評価	<p>利用率が前年度比約2.5%減少しました。主な原因としては利用児童に新型コロナウイルスの陽性者はありませんでしたが濃厚接触者に認定をされて多くの利用の中止が発生したことがあります。感染リスクを避けるために利用を休止した家庭もありました。また、職員の陽性者も発生により臨時休業を2日間行った影響もありました。ただし、夏季休業中のプール活動の制限以外は通常通りのサービス提供を行いました。</p> <p>利用児童の無断外出と負傷という事故を2件起こしてしまいました。いずれも大事には至りませんでした。職員が利用者の特性を理解及び行動を把握していれば防げた事故でありました。事故の分析と再発防止のためにより職員間の情報共有と対応を徹底していきます。</p> <p>令和4年度は学校卒業による利用終了者が4名おり、代わって小学生5名の新規利用が予定されています。そのことによる利用率の改善と引き続き感染症対策を行いながら利用率の改善の努力を続けたいと思います。</p> <p>感染症対策のため個別支援計画作成等のための保護者面談についてZOOMや電話の利用といった方法を引き続き試みました。今後も必要な取り組みと思われまます。</p>
------------	---

【施設概要】

事業の目的

学校に通学する障害児に対して、放課後等デイサービスを提供することにより、児童及び保護者の福祉の増進を図ることを目的としました。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	(法人常務理事、事務長を兼務)
管理者	1名	常勤職員1名(児童発達支援管理責任者を兼務)
児童発達支援 管理責任者	1名	(管理者を兼務)
児童指導員	7名	常勤職員 1名 非常勤職員 6名
指導員	1名	非常勤職員1名

【施設運営方針について】

①	利用児童と学校との連携により、発達段階に応じた個別の援助と支援を行いました。
②	関係自治体及び地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り総合的なサービスの提供に努めました。
③	児童福祉法他関係法令を遵守し、事業を実施しました。

【令和3年度重点目標について】

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の動向に則した職員配置に取り組み、非常勤職員6名を児童指導員として登録をしました。

個別支援計画の作成を主とする援助と支援の充実が求められました。そのための家庭との連携と職員の資質向上に努めました。

6か月ごとの個別支援計画作成のための家族との面談、計画の作成および報告の流れは確立できましたが、研修を主とした職員の資質向上はコロナ禍の影響のため不十分でした。

人事評価制度の活用にはまだ課題もあり、今後より職務の基準を明確化することで職員のスキルアップと個人面談による人材育成が必要と思われまます。

令和元年度受審した第三者評価を基に利用者の方々に良質で適切なサービスを提供し事業の質を向上のため努力をしました。

支援の質の向上と支援内容の適正化のため利用者保護者等向けと職員向けの自己評価を実施しました。

【新規事業について】

特にありません

【放課後等デイサービスの内容について】

①	児童発達支援計画の作成		
②	基本事業		
	ア	自立した日常生活を送るための支援	
	イ	創作的活動、作業活動	※音楽療法士による活動も24回行いました。
	ウ	余暇の提供	
	エ	相談業務	
	オ	地域交流の機会の提供	
	カ	送迎サービス	※年間で延べ3,559人の利用がありました。 (1日平均15人)

【保健衛生について】

①	家庭と連携し、毎日の利用児童の健康状態を把握しました。また、服薬、既往症等の調査を実施しました。
②	施設全体として衛生意識の啓発、向上に努めました。

【食事の提供について】

食事の提供は実施しませんでした。

【送迎について】

学校開業日は、七生特別支援学校に事業所のワゴン車でお迎えに行きました。
学校休業日は自宅付近までお迎えに行きました。
帰りは希望者を自宅付近まで送りました。

年間利用人数	延べ3,559人
--------	----------

【家庭との連携について】

①	毎日の連絡帳で利用児童の状況を相互に把握しました。
②	個別支援計画作成と報告のための保護者面談はコロナウイルス感染防止のため電話、ZOOM利用、文書による報告、従来通りの面談のいずれかの方法を選択してもらいました。

【関係機関との連携について】

コロナウイルス感染対策のため、利用児童の所属学校の学校行事等が非公開となり例年行っていた情報交換ができませんでした。
日野市発達支援関係機関連絡協議会も書面による情報及び意見交換となりました。
「エール」の担当相談員とは随時情報交換を行っています。

【地域交流について】

①	ボランティアをクリスマス会のため5名受け入れました。
②	平山台健康・市民支援センター内で活動をしている「平山台交流の会」より野菜畑の提供を受けて、芋掘りを行いました。
③	年三回平山台健康・市民支援センター利用団体連絡会で日野市及び各団体と情報交換等を行っています。

【ボランティアの受け入れについて】

ボランティアセンターに依頼をしてクリスマス会のため5名派遣をしてもらいました。

【実習生の受け入れについて】

今年度はありませんでした。

【会議について】

会議名	対象職種	実回数	会議名	対象職種	実回数
連絡 打ち合わせ	全員	毎日	個別支援計画関 連会議	児童発達支援 管理責任者 指導員	3回
ケース会議	全員	10回	職員会議	全員	10回

【職員研修について】

テーマ	主催者	参加者	
社会福祉事業従事者 人権研修	東京都	児童指導員	1名
全国放課後連研修会	全国放課後連	児発管	1名
災害対策	法人内研修	児童指導員 児発管	8名 1名
虐待防止	法人内研修	児童指導員 児発管	8名 1名
感染症対策	法人内研修	児童指導員 児発管	7名 1名
職員研修発表会	法人内研修	児童指導員 児発管	4名 1名

【修繕について】

- ・トイレ用コンセントスイッチ修繕
- ・トイレ汚水管詰まり修繕
- ・男子トイレ改修工事

【安全管理について】

①	利用児童の安全を図ると同時に、建物及び内外の施設の事故防止に心掛けました。
②	利用児童に万が一怪我等があった場合は、協力医療機関または保護者の指定する医療機関に連絡する等必要な処置を講ずる他、家庭等に連絡を取るなど適切な対応に努めました。

(1) 防災対策

①	防災対策については、地域との連携も図りながら、事業所周辺の整理整頓に心がけました。
②	消防計画に基づき、火災予防に努めるとともに、自衛消防活動により、定期的に避難訓練を行いました。
③	震災対策についても、消防計画に基づき、安全かつ迅速な対応ができるようにしました。

(2) 防犯対策

防犯対策は、警察署、警備会社と連携をとって対応しました。

【災害対策について】

BCP計画の策定中です。

【感染症対策について】

法人内研修により嘔吐物処理の方法や備品の準備や管理を学びました。新型コロナウイルス感染症対策としては法人の制定した対応マニュアルの周知及び日常の消毒作業を続けています。そして、学校での利用児童の引き渡し時に検温と手指消毒を行っています。そして手洗いがいの徹底と可能な限りマスクの着用を指導しました。

【緊急時の対応について】

①	緊急時の各家庭への連絡については、電話等により、速やかな対応を図りました。
②	組織、任務分担を整備し、万一の緊急事態にも、速やかに適切な対応がとれるようにしました。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために、虐待防止のための研修資料を職員で学習しました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に沿って、個人情報の正確性、重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

利用者及び家族からの苦情はありませんでした。
家族からの相談等に関しては誠意を持って対処し、適切に対応することができました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

【日課表】

(学校開業日)	
14時00分～16時00分	余暇活動・学習等
16時00分～16時15分	おやつ提供
16時15分～17時00分	設定プログラム (運動・絵画・創作・音楽等)
17時00分～	家庭への送り開始
18時00分	終了

(学校休業日)	
9時00分～10時00分	家庭へのお迎え
10時00分～11時00分	余暇活動・学習等
11時00分～12時00分	設定プログラム (運動・絵画・創作・音楽等)
12時00分～13時00分	昼食
13時00分～14時00分	余暇活動
14時00分～15時00分	夏季休暇中は水遊び等 それ以外は屋外活動
15時00分～16時00分	余暇活動
16時00分～	家庭への送り開始
17時00分	終了

【年間行事実施】

月	行事名	備考
4月	お花見	
12月	クリスマス会	
3月	卒業生を祝う会	
毎月利用児童のお誕生日会を行いました。		

利用状況	◎ 利用者(学校別・学年別・性別)状況 (別表1-1)のとおり			
	◎ 月別利用状況 (別表1-2)のとおり			
	◎ 送迎サービス利用状況 (別表1-3)のとおり			
修繕実施状況	実施日	修繕項目	施工業者	金額
	令和3年4月	男性洋式トイレ改修	キングランリニューアル株式会社	995,500円
	令和3年11月	トイレコンセントスイッチ	(有)大平電機	9,680円
事故処理状況	発生年月日	事故内容	処理状況	
	令和3年5月10日	利用児童無断外出	無断外出約40分後に職員が発見保護をする。	
	令和4年1月21日	利用児童の負傷	帰宅後通院をする。2針縫う。	
	令和4年1月28日	職員新型コロナウイルス感染	10日間自宅療養となる	
	令和4年1月30日	利用児童新型コロナウイルス感染の疑い	検査ができず10日間自宅療養となる	

利用者(学校別・学年別・性別)状況

(別表1-1)

(令和4年3月31日現在)

	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		高1		高2		高3		小計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
七生特別支援学校	3	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	16	7	23			
平山小																										0	0	0
平山中																										0	0	0
七生中																										0	0	0
合計	3	1	1	1	0	2	1	0	2	0	1	0	1	0	0	1	2	0	1	1	1	0	3	1	16	7	23	

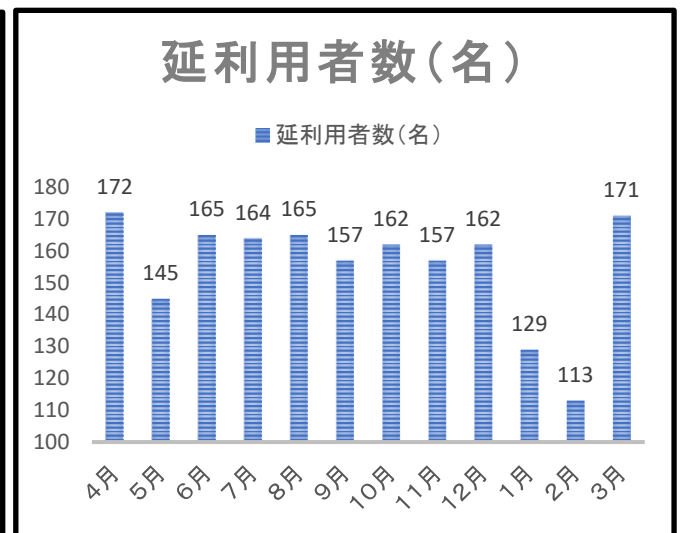
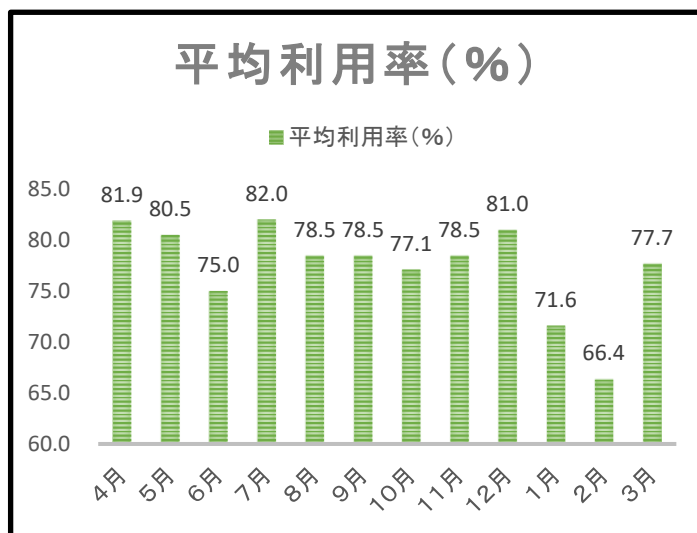
月別利用状況

(別表1-2)

月	4	5	6	7	8	9	小計	
開所日数	21	18	22	20	21	20	122	
定員数	10	10	10	10	10	10	10	
在籍者数	25	24	23	23	23	23	—	
最大利用者数	210	180	220	200	210	200	1,220	
実利用者数	172	145	165	164	165	157	968	
平均利用率(%)	81.9	80.5	75.0	82.0	78.5	78.5	79.3	
月	10	11	12	1	2	3	小計	年間集計
開所日数	21	20	20	18	17	22	118	240 日
定員数	10	10	10	10	10	10	10	10 人
在籍者数	23	23	23	23	23	23	—	— 人
最大利用者数	210	200	200	180	170	220	1,180	2,400 名
実利用者数	162	157	162	129	113	171	894	1,862 名
平均利用率(%)	77.1	78.5	81.0	71.6	66.4	77.7	75.7	77.6 %

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。

※ 最大利用者数は、定員10名に開所日数を乗じた数です。



送迎サービス利用状況

(別表1-3)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
利用 人数	322	307	319	300	289	306	1,843	(人)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
利用 人数	323	284	307	251	221	330	1,716	3,559

令和 3 年度	事業報告	共同生活援助 しえろ
---------	------	---------------

総括 自己評価	<p>令和3年3月、グループホームしえろは定員9名で新しく事業を始めました。1週間毎に数名ずつの受け入れを行って、3月中には定員を満たすことができました。順調にスタートしつつも、コロナ禍は衰えを知らず、当初より感染予防を徹底し利用者・職員の体調管理に万全を期すとともに施設全体の清掃と消毒には常に注意を払ってきました。</p> <p>一方、利用者が昼間利用するはくちょう(生活介護)、つばさ(就労継続支援B型)で活動する利用者等へのコロナ感染の影響と相まって、しえろ職員の配置が伴わず、心ならずも利用日を縮小せざるを得ない事態が複数回あり、利用者・家族の皆様には多大のご迷惑をかけてしまったことは真に遺憾とするところです。</p> <p>ただ、今年度末の懸命な採用活動を実施する中で新しく熱心な職員配置の見通しがたち、安定した事業の展開が見えつつあります。今後とも継続的な職員採用に努め利用者・家族の皆様により信頼されるグループホームの運営に努めて参ります。</p>
------------	---

【施設概要】

事業の目的

利用者がしえろで健康に配慮され利用者本人の思いや人格が尊重されて、より自立的な日常生活を営むことができるように求められています。そのために利用者に対する丁寧なアセスメントを行ったうえで個別支援計画の見直しをやりながら生活支援に努めました。

また、日常的に健康管理には努めながら、美味しい食事の提供、穏やかなゆったりした生活環境作りに配慮、努めてまいりました。

職員配置

(令和4年3月31日現在)

施設長	1名	理事長兼務
管理者	1名	常勤職員(サービス管理責任者・生活支援員を兼務)
サービス管理責任者	1名	常勤職員(管理者・生活指導員を兼務)
生活支援員	7名	常勤職員3名・非常勤職員4名
世話人	5名	常勤職員2名(兼務)・非常勤職員3名
夜間支援従事者	8名	常勤職員2名(兼務)・非常勤職員6名

【施設運営方針について】

共同生活援助は、地域において自立した日常生活を営むことができることを目指す中で利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場でサービスを提供し、漫然かつ画一的にならないように配慮してきました。

【令和3年度重点目標について】

個別支援計画に基づいた支援と家族、関係機関等の連携のを大事にしなが、利用者一人ひとりのしえろでの生活の質を高めるように努め、同時に、職員に対しては人事評価制度を活用し、職務の基準を明確化することで職員のスキルアップと個人面談を通してより実践的な人材育成を図ってきました。

【共同生活援助の支援の内容について】

利用者の状況をアセスメントしながら個別支援計画に落とし込み、どの職員も共通の意識をもって支援にあたることを大事にしてきました。

月に一度、全スタッフが顔をそろえて情報交換と徹底を図ってきたほか、日常の支援の中で齟齬があったときはその場で注意し合うことで支援計画に立ち返る支援ができるように話し合ってきました。

【保健衛生について】

家族、法人内関係施設との連携に努め、日々の利用者の健康状態の把握に努めてきました。同時に、法人全体で運営する感染症対策委員会に参加する中で、体験的な研修を含めて職員の衛生意識の啓発、向上に努めてきました。

【食事の提供について】

安全かつ季節感のある食材を提供する業者を選んで、美味しくかつ楽しい食事作りに努めました。

(食事の提供実績)

利用者分	朝食	1,441 食
	夕食	1,445 食

その他 (職員等)	朝食	364 食
	夕食	373 食

【送迎について】

必要に応じ自宅への送り迎え、また医療機関への受診を要する利用者への送迎を行いました。

【家庭との連携について】

随時、電話連絡、お便りまた面談を通して緊密な連携を図ってきました。更に、信頼関係を深めて利用者支援に努めて参ります。

【関係機関との連携について】

東京都、日野市及び立川市等の公共団体のほか、委託している医療機関との綿密な連携をもとに、総合的な情報交換行ってきました。

日野市内でグループホーム連絡会が発足したので、この集まりとの連携も図っていく予定で

【地域交流について】

- ① 地域清掃への参加をしました。今後とも地域社会との関係作りの取っ掛かりの一つとして関わって行こうと思います。
- ② 学生の実習やボランティアの受け入れて、有効な社会資源の活用に向き合う機会を作るとは今後の課題と考えています。

【ボランティアの受け入れについて】

今年度は実現しませんでした。コロナ禍による制約が解けた時に、適切なボランティア等の活用を検討したいと考えています。

【会議について】

会議名	対象職種	実回数	備 考
スタッフ会議	全員	毎月	(原則として) 第二金曜日午前10:00～12:00
職員会議	常勤職員	適時	チームワークとサービスの在り方の構築等の意見交換ほか

【職員研修等について】

(研修)

テーマ	主催者	参加者	
オンライン 障害者グループホーム 従事者基礎研修	(東京都委託事業) 株式会社トライ	職 員	3 名

(資格取得)

資格名	主催者	資格取得者	
防火・防災管理者	東京消防庁	箕輪あずさ (管理者・サビ管)	1 名

*法人内研修「災害対策」(2名)「消防計画に基づく退避訓練」(7名)「感染症対策:嘔吐物の処理」(8名)「虐待防止」(7名)「消防計画に基づく避難訓練」(9名)「職員研究発表会」(5名)

【修繕について】

10月に業者の主導のもとに、建物後1年点検を行い、軽微な電気関係の不具合を修理しました。

【安全管理について】

日常的な健康管理の実施のほか、怪我・事故を未然に防止するために、施設内外の環境整備への気配りに努めました。実際、消防・避難訓練を複数実施して安全管理の意識の高揚を図りました。

(1) 防災対策

- ① 1月に消防計画に基づいて自衛消防訓練を実施しました。
- ② 震災対策については、消防計画に基づいて安全かつ迅速な対応をとることとします。
- ③ 防災対策については事業所周辺の整理整頓に心がけてます。

(2) 防犯対策

防犯対策は、防犯設備を整え、必要時に警察署、警備会社と連携をとって対応しました。

【災害対策について】

- ① 法人内の委員会活動の中で事業継続計画(BCP)の作成と周知を図りました。
- ② 事業継続計画(BCP)を時代の要請にこたえて随時見直しを行っています。
- ③ 10月に避難場所への避難訓練を行いました。

【感染症対策について】

- ① 起床後すぐ、及び外部からのしえろへの戻りのたびに、体温検査、手洗い、消毒を実践しました。
- ② 法人の感染症対策委員会に参画してしえろでの情報の徹底を図りました。
- ③ 11月に職員全員を対象に、口等から出た排出物の処理を実践を通して訓練しました。
- ④ 1月からは東京都の指示に元に、職員に対するPCR検査を毎週実施してコロナ感染の有無を確かめ体調管理に万全を期しています。

【緊急時の対応について】

関連部門でのコロナ陽性者の出現に伴い、しえろで対応を決め、すみやかに家族への周知を図りました。
緊急対応のマニュアルをもとに話し合い、適切な対応がとれるように職員間で確認しました。

【虐待防止のための措置について】

障害者虐待防止法及び障害者差別解消法等の基づき、利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスの提供に努めました。また、虐待防止のための責任者を設置しました。このような体制に加えて、法人での虐待防止委員会に参加し、虐待防止セルフチェックリストに定期的に取り組み、虐待が起こりやすい職場環境の確認、改善を図りました。

虐待防止のために法人全体で虐待防止委員会を運営し、職員に対する継続的な研修を実施しました。また、支援現場でのヒヤリハット事例の報告、分析を行う体制をとって支援の見直しを図って支援に努めました。虐待防止等のための責任者を設置しました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規定」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を理解して適正な取り扱いをするように努めてきました。

実際、施設でTVがある利用者に壊されてその親が壊された家族への保険を使っでの弁償が行われましたが、その際、保険会社の事故の発生した状況を確認したいとの申し出に対して、利用者のプライバシーに触れるところを避けつつ親族の状況記載内容を検証してもらい、了解のもとに利用者の行為に至る状況を提示することができました。

【苦情解決について】

特段、苦情解決に関わる事例はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

【日課表】 (別表1)

【年間行事实施】 (別表2)

【利用の状況】 (別表3)

修繕 実施状況	実施日	修繕項目	施工業者	金額
	11月	トイレ照明修繕	積水ハウス	18,920円
	1月22日	TV壁掛け工事	キングランリニューアル	220,000円

事故処理 状況	発生年月日	事故内容	処理状況
		特になし	

しえろ 日課表

(別表1)

時間	平日		休日	
	利用者	職員	利用者	職員
↓	(就寝)	(夜間支援)	(就寝)	(夜間支援)
6:00	起床、洗面、身支度	起床、朝食準備	起床、洗面、身支度	起床、朝食準備
7:00	朝食、服薬	朝食、服薬管理	朝食、服薬	朝食、服薬管理
8:00	身支度、通所準備	身だしなみチェック	身支度	身だしなみチェック
8:40~9:50	事業所へ出発	見送り		
		清掃・洗濯 買物・事務作業ほか	余暇活動ほか	
11:30			昼食	昼食準備・昼食
13:00			余暇活動ほか	
15:30	帰宅・入浴	受入、夕食準備	入浴	夕食準備
		入浴介助ほか		入浴介助ほか
18:30	夕食、服薬	夕食、服薬管理	夕食、服薬	夕食、服薬管理
19:00	余暇時間	食事片付け	余暇時間	食事片付け
20:30	居室での余暇時間 就寝準備	就寝準備	居室での余暇時間 就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝声掛け (夜間支援)	就寝	就寝声掛け (夜間支援)

令和3年度 しえろ 年間行事実施

(別表2)

月	行事名	月	行事名	月	行事名	備考
4月	お花見	8月		12月	クリスマス会	(その他) 誕生日会
5月	端午の節句	9月	お月見	1月	お正月	
6月		10月	ハロウィン	2月	節分	
7月	七夕	11月		3月	桃の節句	

【利用の状況】

(別表3)

おおるり	(男性)	5名
ひばり	(女性)	4名
計		9名

(年齢別状況及び障害支援区分別利用者状況) (令和4年3月31日現在)

年齢	~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
障害支援区分	区分1										
	区分2					1					1
	区分3										0
	区分4			2	1		1				4
	区分5		1								1
	区分6				1	2					3
	小計	0	1	2	2	3	1	0	0		9
身障手帳保有者					2						2